

「栃木県のがん 2019(令和元年)」 (栃木県がん実態調査報告)について

全国がん登録 2019(令和元)年症例 罹患数・率
・2022(令和4)年5月 報告書公表

- 栃木県版報告書の作成
「栃木県のがん 2019(令和元年)」

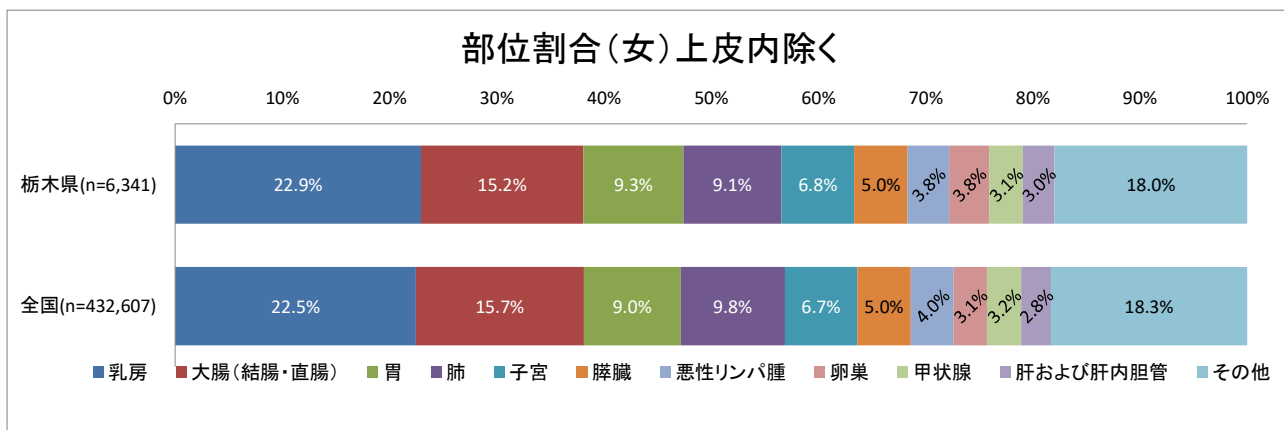
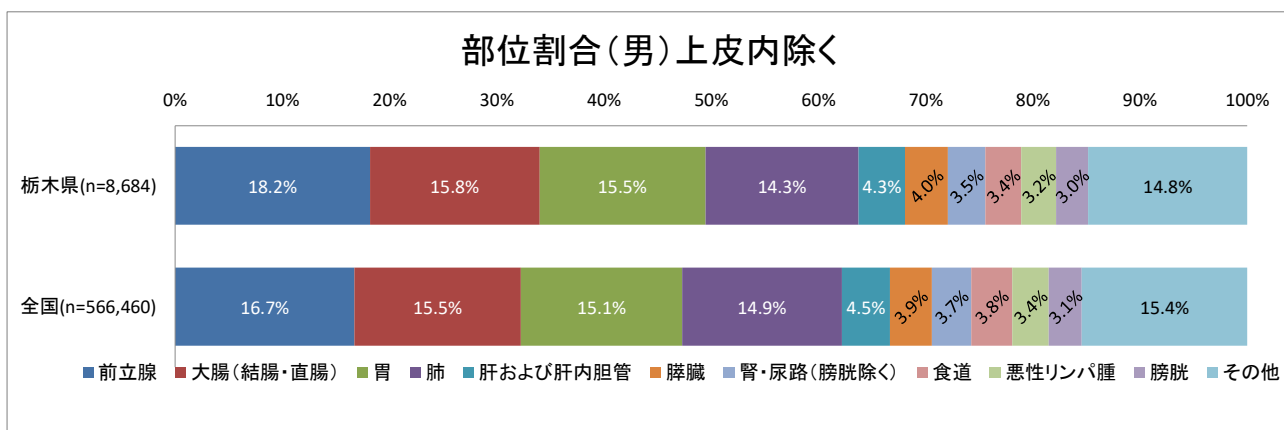
1. 罹患の概要

(1) 罹患数及び罹患率

上皮内がんを除く全部位の罹患数(C00-C96)は15,025件(男性8,684件、女性6,341件)であった。罹患率人口10万対では776.9(男性900.8、女性653.7)、年齢調整罹患率は377.5(男性432.5、女性338.3)であった。

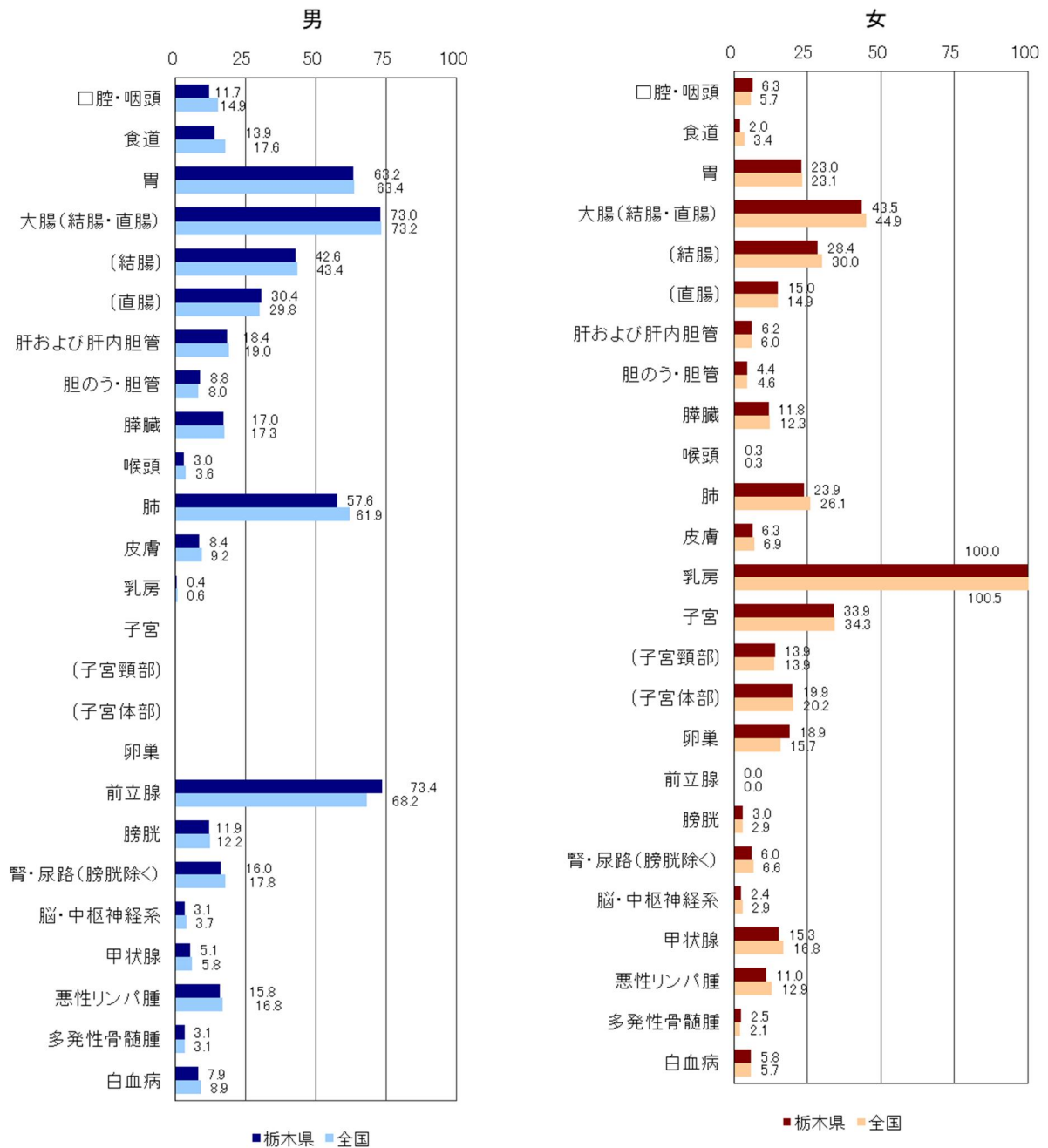
罹患数を部位別に多い順にみると、男性では前立腺(1,578件、18.2%)、大腸(1,374件、15.8%)、胃(1,343件、15.5%)、肺(1,241件、14.3%)、肝臓(377件、4.3%)であった。女性では、乳房(1,454件、22.9%)、大腸(961件、15.2%)、胃(592件、9.3%)、肺(578件、9.1%)、子宮(432件、6.8%)であった。

全国と比較して、それぞれの部位の占める割合は大きく変わらなかった。全国では男性は、前立腺、大腸、胃、肺、肝臓の順、女性は乳房、大腸、肺、胃、子宮の順であった。



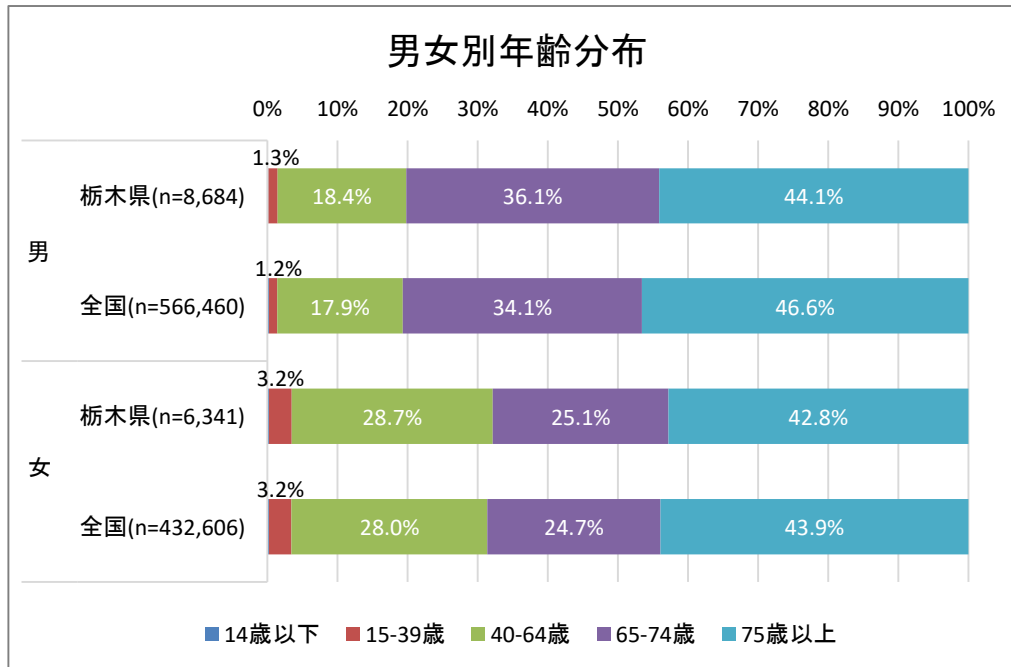
罹患率(人口 10 万対)は 776.9(男性 900.8、女性 653.7)で、全国の罹患率 791.9(男性 922.4、女性 668.1)と比較してやや低かった。

部位別年齢調整罹患率



(2) 年齢別罹患

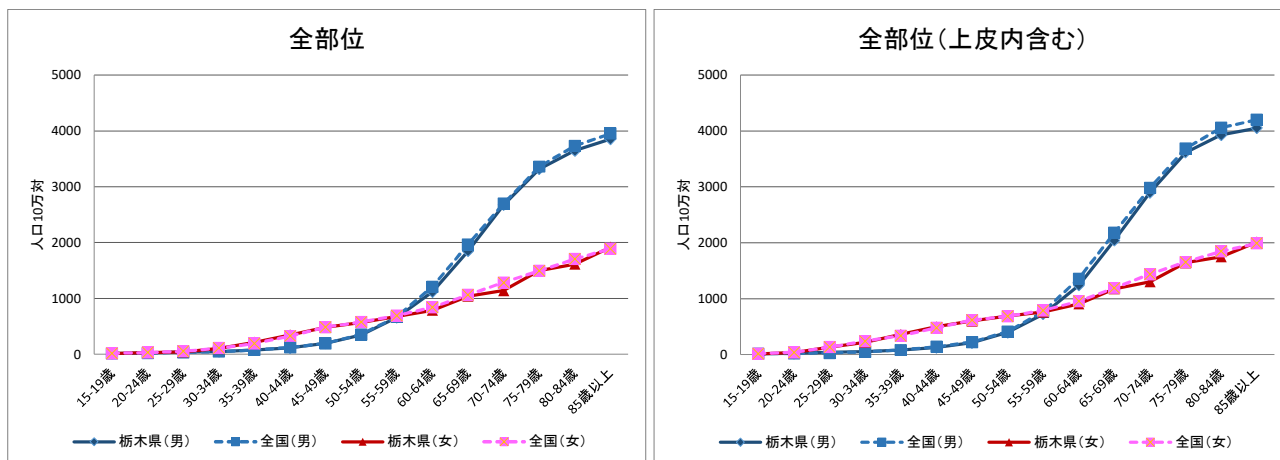
年齢別では、2019年に新たにがんと診断された65歳以上の割合は男性80.2%、女性67.9%であった。全国においては男性80.7%、女性68.6%で男女とも栃木県の方が若い年齢の割合が高かった。



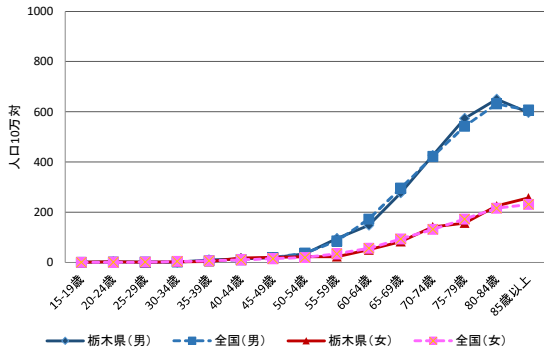
年齢階級別罹患率は、全部位で30～50歳代で女性が高く、60歳以上では男性が高くなった。男女とも年齢階級が高くなるにつれて罹患率は上昇した。その傾向は全国と同様であった。

多くの部位は年齢が高くなるほど罹りやすい傾向があるが、女性の乳がん、子宮頸がんはより若い年齢でも罹患率が高かった。

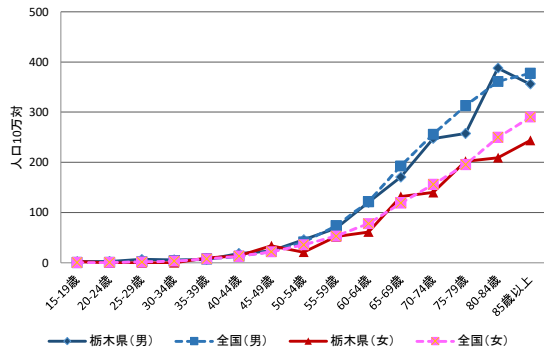
部位別年齢階級罹患率



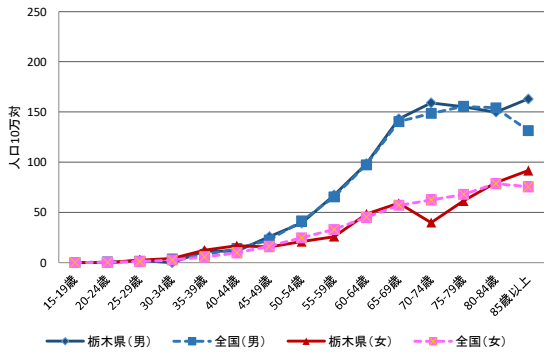
胃



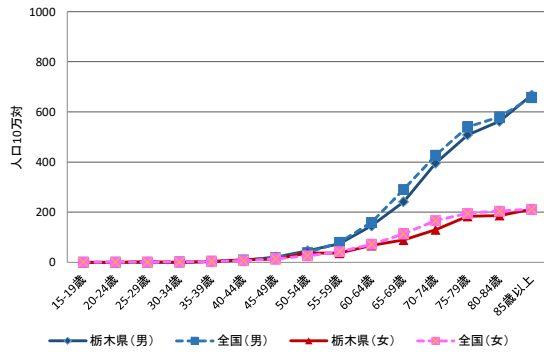
結腸



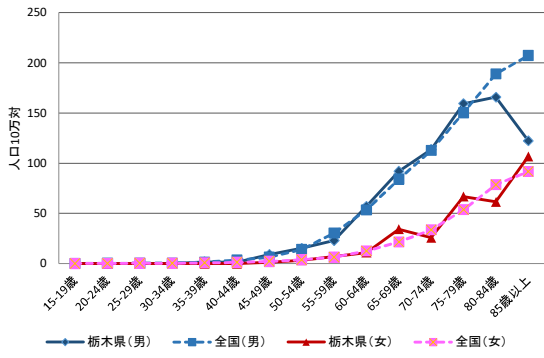
直腸



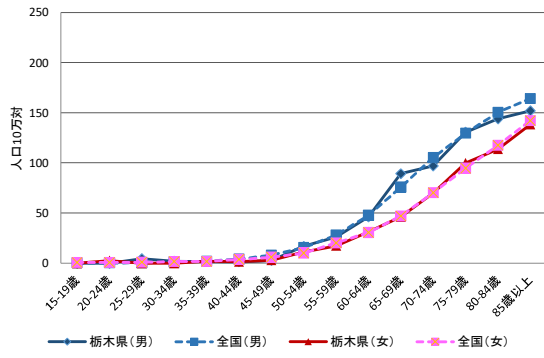
肺



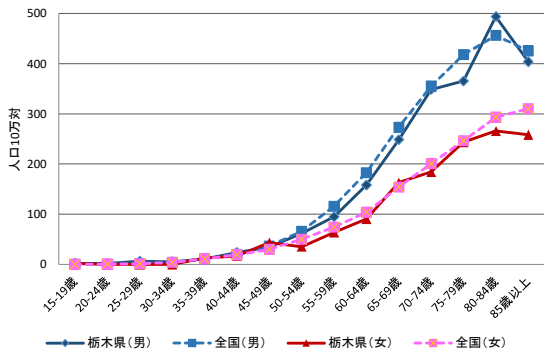
肝臓



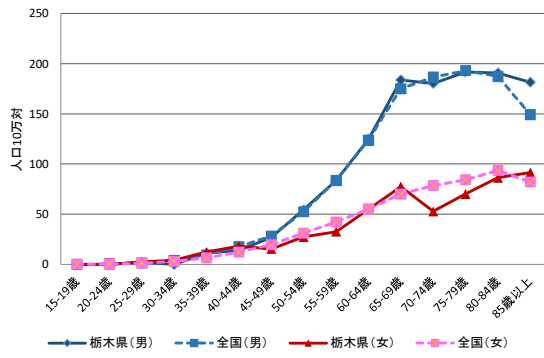
膵臓



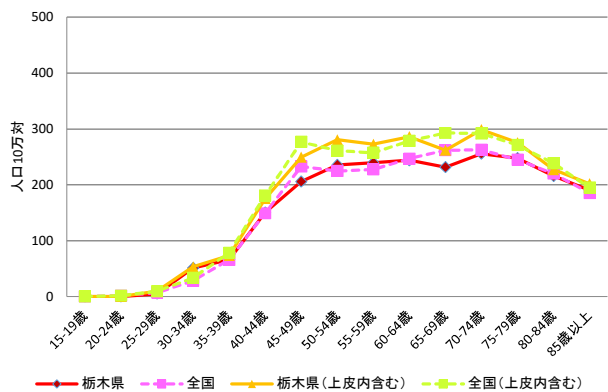
結腸(上皮内含む)



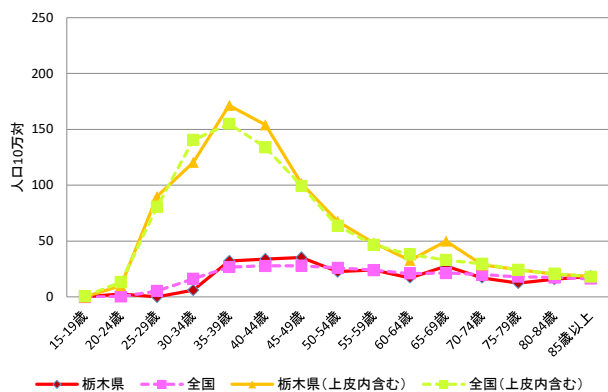
直腸(上皮内含む)



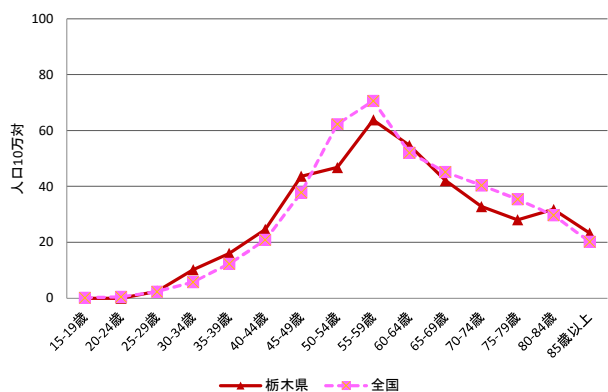
乳房(女性)



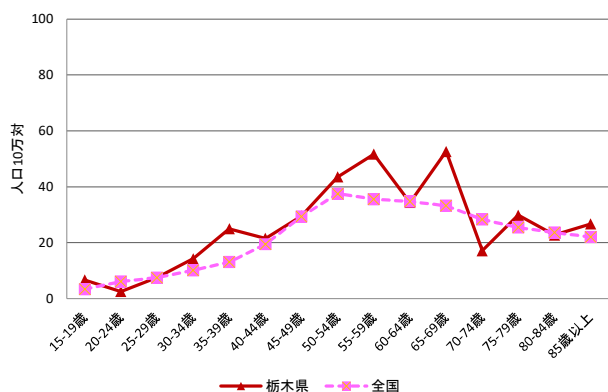
子宫頸部



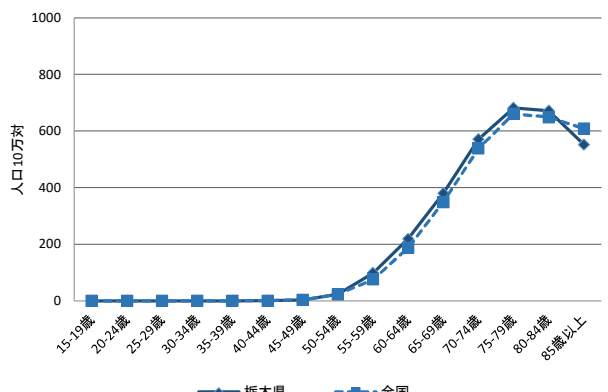
子宫体部



卵巢

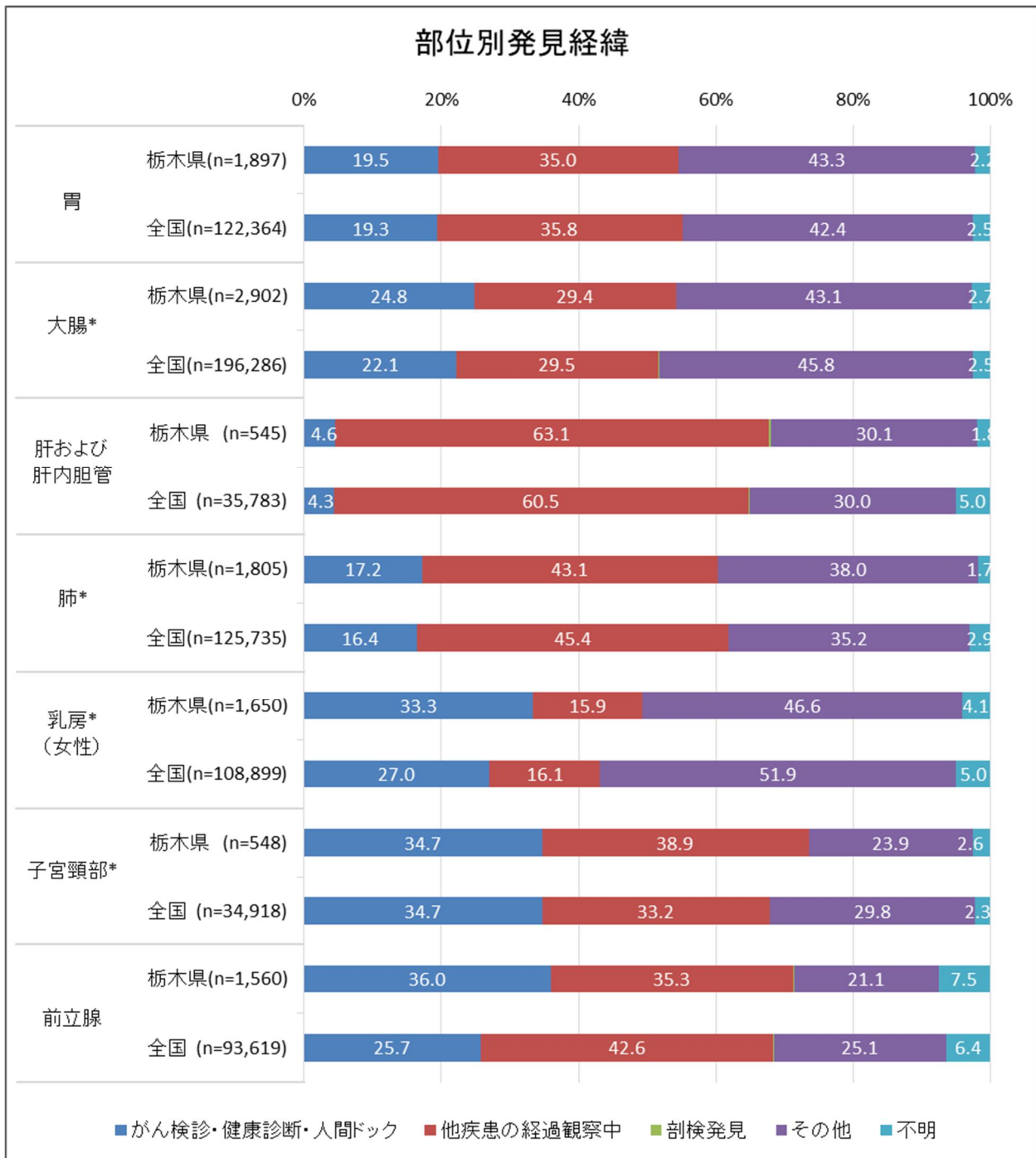


前列腺



(3) 発見経緯

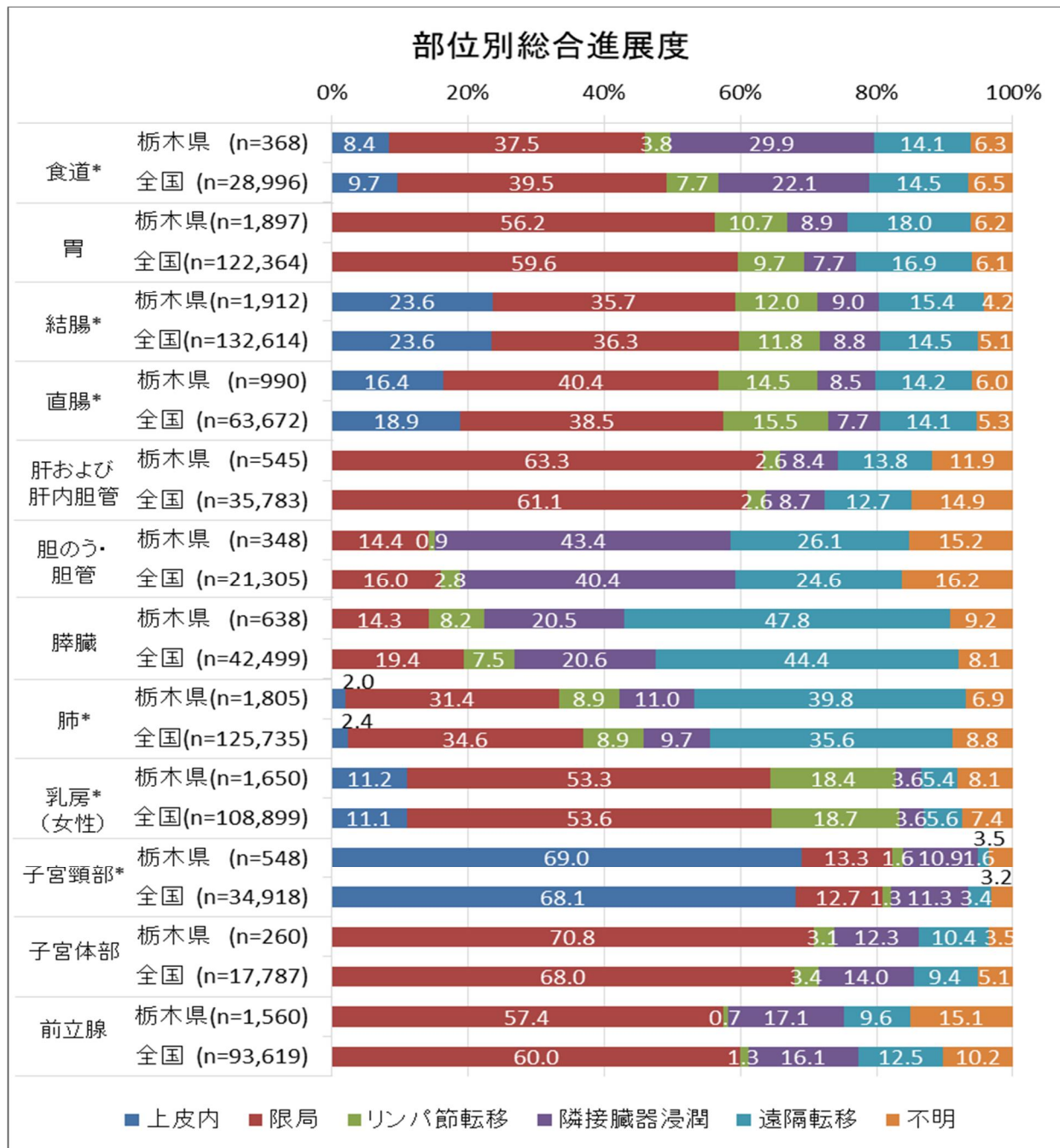
部位別発見経緯では、がん検診・健康診断・人間ドックによる検診等発見割合が、胃(19.5%)、大腸(24.8%)、肺(17.2%)、乳房(33.3%)、子宮頸部(34.7%)、前立腺(36.0%)であった。乳房、前立腺は栃木県の検診等発見割合が全国より高かった。



* 上皮内がんを含む。

(4) 総合進展度

胃、大腸のように上皮内・限局が50～60%を占めるもの、乳房、子宮頸部、子宮体部のように60%を超えるもの、反対に胆のう・胆管、膵臓、肺のように40%に満たないものがあった。栃木県は全国と比較して、胃、大腸、胆のう・胆管、膵臓、肺において上皮内・限局の割合が低く、遠隔転移の割合が高かった。

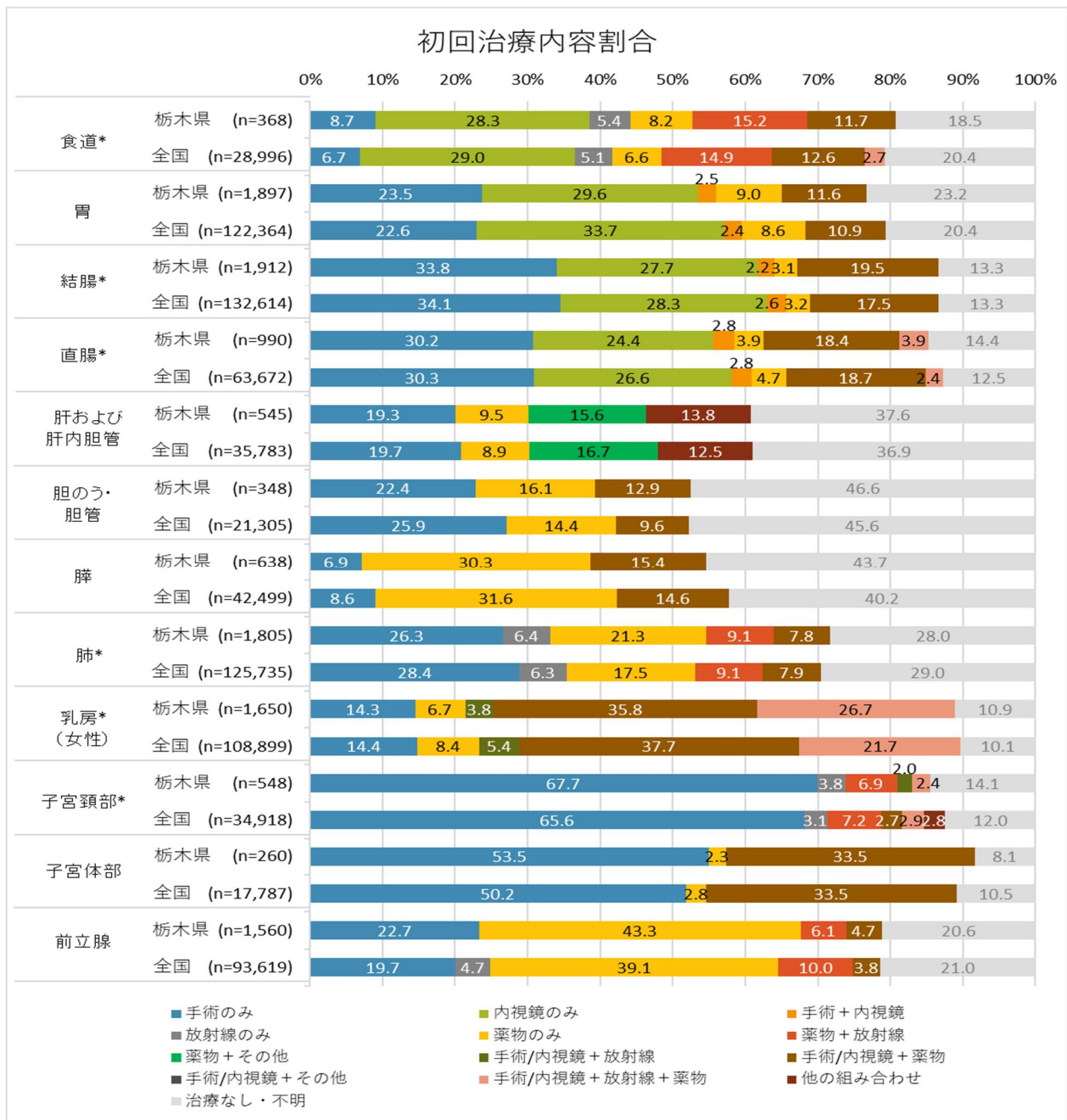


* 上皮内がんを含む。胃の限局にはmがんを含む。結腸・直腸の上皮内はmがんまでを指す。子宮頸部の上皮内はCINⅢを含む。

(5) 初回治療

がん登録における初回治療は、当該がんの縮小・切除を意図したがん組織に対する治療（「腫瘍に対する治療」という）のうち、当該がんに関する最初の診断に引き続き行われた、腫瘍に対する治療とする。

主な部位別に治療の内容を分類し、割合を示す。部位によって、特徴があり、全国と栃木県は同じような傾向を示す。しかし、初回治療の内容は診断時の進展度、年齢や併存症などに影響されることを考慮しなければならない。



* 上皮内がんを含む。 付表3 参照

2. 死亡の概要

2019年1年間で5,732人(男性3,332人、女性2,400人)が、がんを原因として死亡した。部位別では男性で肺が最も多く、胃、大腸、膵臓、肝臓と続く。女性では大腸が最も多く、肺、胃、膵臓、乳房の順であった。全国の死亡順位は男性では栃木県と同じ順で、女性では、大腸、肺、膵臓、胃、乳房の順であった。

年齢では、75歳以上が男性で58.2%、女性で66.2%を占めた。全国値では、男性61.1%、女性66.7%と栃木県の方が高齢者の割合が低かった。以下、全国と栃木県の年齢調整死亡率の比較を示す。

部位別年齢調整死亡率

